

平成29年8月28日  
記者発表資料②  
企画管理部財政課

# 平成28年度決算見込の概要



三木市 Miki City

# 目次

1	一般会計	決算総括	1
2	一般会計	決算の内訳	2
3	一般会計	市債残高と基金残高の推移	3
4	財政指標		4
5	特別会計	決算状況	5
6	企業会計	決算状況	6
+	(参考)	北播磨総合医療センター企業団決算状況	7

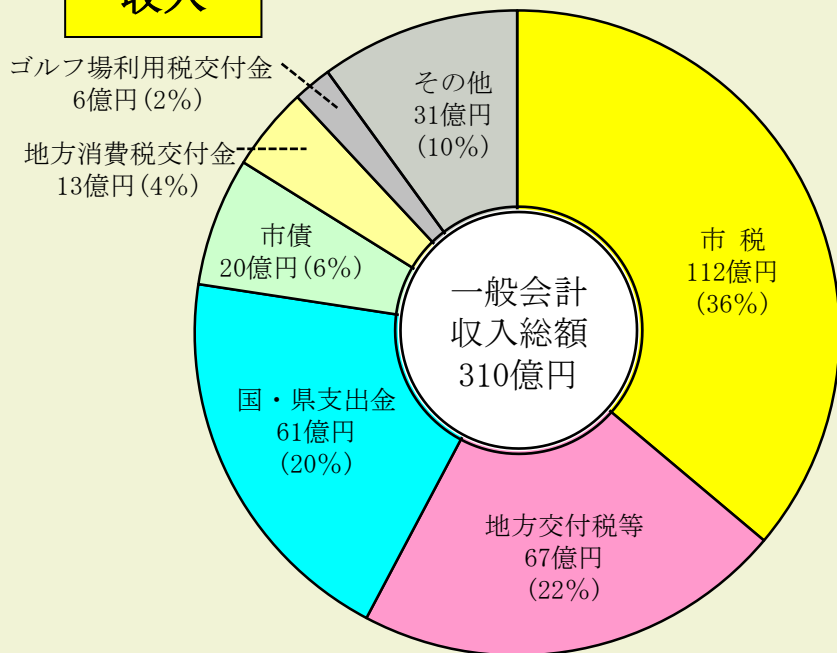
# 1 一般会計 決算総括

- 平成28年度は、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力あるまちづくりを進める「三木市創生計画 人口ビジョン・総合戦略」に基づき、「しごとを創る」「まちのにぎわいを創る」「教育・福祉を充実する」の3点に重点化。
- 一般会計の決算見込は、収入と支出の差引額は3億3,990万円であり、翌年度へ繰り越す財源を差し引いた実質的な収支は8,525万円の黒字。

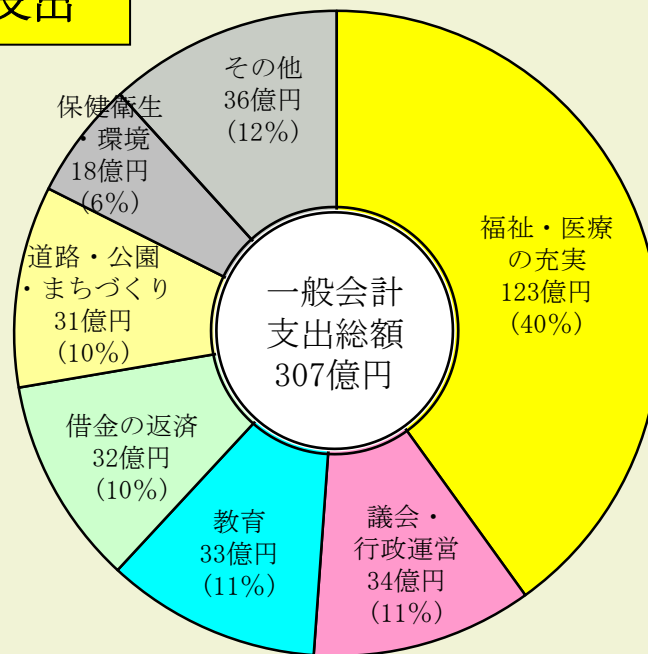
区 分	平成28年度 決算見込額 A	平成27年度 決 算 額 B	差 引 (A - B)
収 入 額 ①	310億3,256万円	311億8,893万円	△ 1億5,637万円
支 出 額 ②	306億9,266万円	307億4,445万円	△ 5,179万円
差 引 (① - ②) ③	3億3,990万円	4億4,448万円	△ 1億 458万円
翌年度へ繰り越す財源 ④	2億5,465万円	3億1,025万円	△ 5,560万円
収 支 額 (③ - ④) ⑤	8,525万円	1億3,423万円	△ 4,898万円

# 2 一般会計 決算の内訳

## 収入



## 支出



### 決算の特徴

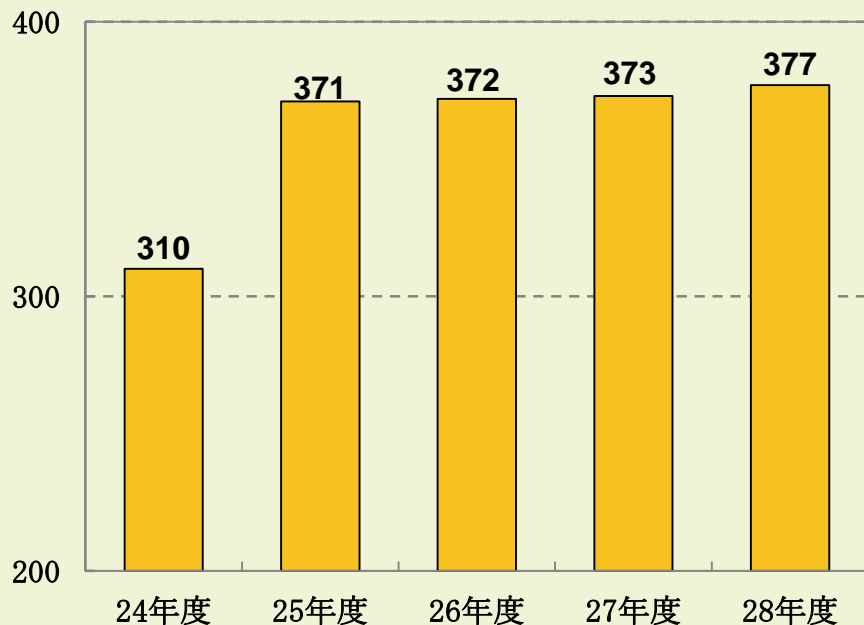
- ネスタリゾート神戸のオープンなどにより市税が1億3,855万円増加
- 生涯活躍のまちの推進や、ゴルフ振興を図るための地方創生推進交付金3,877万円を確保
- 人口減少や合併後10年を経過したことなどにより普通交付税が1億9,252万円減少 など

- 生涯スポーツの新たな拠点となる「総合体育館」の建設に着手
- 認定こども園の開設や保育教諭の人材確保など、就学前教育・保育を充実
- 緑が丘のまちの再生や高齢者の生活支援など、多世代共生による生涯活躍のまちづくりを推進 など

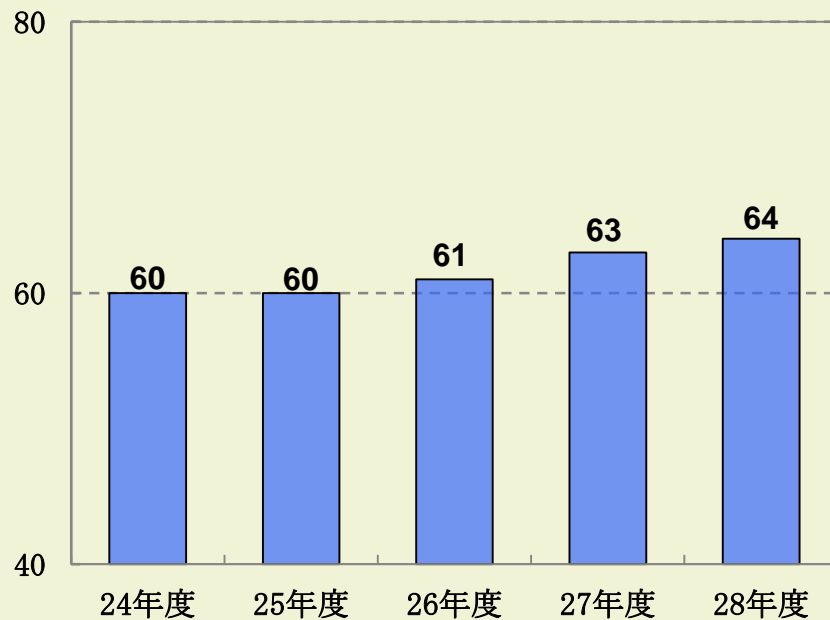
# 3 一般会計 市債残高と基金残高の推移

- 市債の残高は、平成25年度に北播磨総合医療センターの建設や旧市民病院の清算などにより大きく増加した後、平成28年度では認定こども園や総合体育館、主要道路の整備のほか、消防はしご車の更新などを行ったことなどから、前年度より4億円増加の377億円
- 基金の残高は、前年度決算の黒字額のほか、ふるさと納税の寄附金などを積み立てたことなどから、前年度よりも1億円増加の64億円

市債残高 (単位:億円)



基金残高 (単位:億円)



# 4 財政指標

- 財政健全化指標は、全ての指標において国の定める基準値の範囲内
- 経常収支比率は、国からの普通交付税の減少などにより悪化

(単位：%)

区 分	三 木 市			国の定める基準値	
	28年度 (A)	27年度 (B)	差 引 (A-B)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実 質 赤 字 比 率	— ※	— ※	— ※	12.56	20.00
連 結 実 質 赤 字 比 率	— ※	— ※	— ※	17.56	30.00
実 質 公 債 費 比 率	4.9	5.7	△ 0.8	25.0	35.0
将 来 負 担 比 率	44.7	43.1	1.6	350.0	
経 常 収 支 比 率	90.7	89.5	1.2		

※は、黒字決算のため該当しない。

# 5 特別会計 決算状況

- 特別会計は、全会計が黒字決算
- 介護保険特別会計は、要支援者向けホームヘルプサービスなど総合事業を一部開始
- 後期高齢者医療事業特別会計は、保険料の改定により収入額が増加

区 分	平成28年度決算					(参考) 平成27年度 収支額
	収入額 (A)	支出額 (B)	差引 (C=A-B)	翌年度へ 繰り越す財源 (D)	収支額 (E=C-D)	
国民健康保険	111億5,230万円	111億4,695万円	535万円	0	535万円	853万円
介護保険	65億9,757万円	63億2,275万円	2億7,482万円	0	2億7,482万円	2億3,902万円
農業共済事業	5,898万円	5,842万円	56万円	0	56万円	29万円
後期高齢者医療事業	11億1,736万円	10億9,119万円	2,617万円	0	2,617万円	2,432万円
学校給食事業	2億9,817万円	2億9,798万円	19万円	0	19万円	1,001万円

# 6 企業会計 決算状況

- 水道事業会計は、収益面で大口需要家などからの収入が増加したことにより給水収益が増加するとともに、費用面で職員給与費や県水受水費が減少したため、当年度純損益は1億9,515万円の黒字
- 下水道事業会計は、収益面で有収水量の増加により使用料が増加するとともに、費用面で支払利息が減少したことなどから、当年度純損益は2億806万円の黒字

区 分		平成28年度			(参考) 平成27年度 収支額
		収入額 (A)	支出額 (B)	収支額 (C=A-B)	
水道事業	収益的収支	18億1,784万円	16億2,269万円	1億9,515万円	1億 342万円
	資本的収支	1億5,080万円	7億5,294万円	△ 6億 214万円	△ 4億8,622万円
下水道事業	収益的収支	26億1,978万円	24億1,172万円	2億 806万円	1億7,329万円
	資本的収支	11億9,275万円	20億9,502万円	△ 9億 227万円	△ 9億7,292万円

(金額は税抜)



# (参考)

## 北播磨総合医療センター企業団決算状況

- 入院・外来の患者数・平均単価ともに前年度を上回ったことから、開院以来初めて経常損益は2,400万円の黒字、純損益も900万円の黒字
- 平成28年11月に、平成32年度までの5年間の病院事業経営の方針を定めた「経営改革プラン」を策定

区 分	28年度 (A)	27年度 (B)	増 減 (A-B)
病院事業収益	153.8億円	142.4億円	11.4億円
うち入院収益	94.7億円	85.8億円	8.9億円
うち外来収益	30.5億円	27.8億円	2.7億円
病院事業費用	153.7億円	143.5億円	10.2億円
うち職員給与費	63.4億円	61.1億円	2.3億円
うち材料費	38.6億円	32.9億円	5.7億円
経常損益	0.2億円	△0.9億円	1.1億円
純 損 益	0.1億円	△1.1億円	1.2億円

項 目	28年度 (A)	27年度 (B)	増 減 (A-B)	
入院	患者数 (1日当たり)	391人	367人	24人
	平均単価	66,227円	63,970円	2,257円
外来	患者数 (1日当たり)	927人	891人	36人
	平均単価	13,350円	12,767円	583円
内部留保資金	1.4億円	0.9億円	0.5億円	

(数値は税抜)